

第2節 新しいライフスタイルを求めて

財テク、カードeetc.

上手に使ってリッチな気分

うまい話にご用心

日本人の貯蓄率は国際的に見てもズバ抜けて高いが、最近の低金利やマル優廃止などにより、少しでも有利にお金を増やそうという人が多くなっているようだ。

国の調査では貯蓄額が年収を上回り、このところ生命保険や有価証券の割合が増えている。

今は、誰もが気軽に財テクを考える時代のように、「あらゆる機会を利用して財産を増やしたい」。市民は、57年には39%だったのが、61年には46%まで増加している。また、「わが家で財テクしている人がいる」のは31%と3分の1になるが、財テクも余裕資金があつてのこと、年収が高いほどこの数が多いのは当然のことだろう。ブームに便乗する形で悪い商法も出てきており、これらによる被害もかなり多いようだ。横浜消費者センターに寄せられる相談や苦情では、この2〜3年、海外先物取引などに関するものが多いという。うまい話にはご用心、ご

用心。

老後の頼りは子どもよりお金？

それでも、今後「貯蓄や投資など将来に備えるか」、それとも「毎日の生活を充実させるか」では「毎日」派45%に対し、「将来」派は41%と半々の結果。「将来」派の理由は、老後の生活のため」がトップである。

貯蓄の目的は、何かを買うためというより、老後や方が一のためで、その選択基準も安全性や収益性を重視しているようだ。



横浜博覧会(昭和64年3月25日からM.M.21地区にて開催予定)のマスケット、ブルアちゃん、もテレフォンカードになった。

金

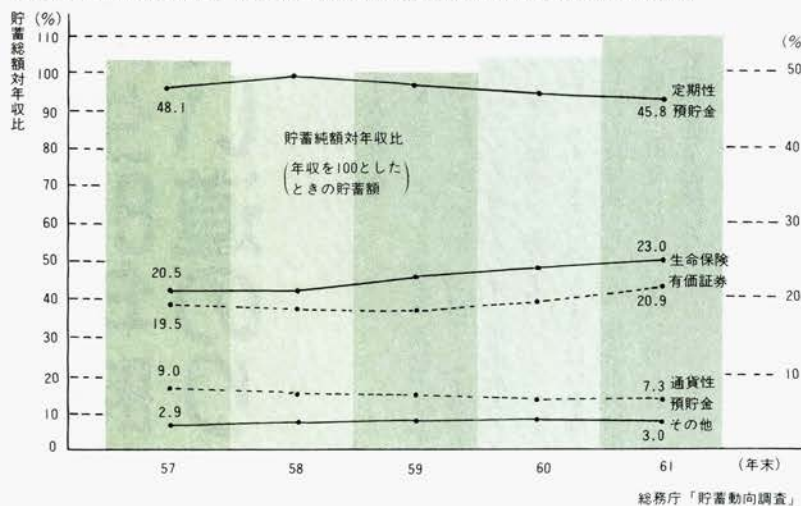
問題の老後。平均寿命も伸びて、だれもが真剣に考えざるをえない状況だ。

頼りになるのはまずお金という人は66%、年金だけでは不安だから、貯蓄などの準備をしておきたいと、大多数(93%)の人が思っている。そこで、老後の生活を支えてくれるものとして当てにしているのは「預・貯金や資産」73%、

市民データ

- 貯金するより欲しいものをすぐ買う人は全体で **37%**
 - 独身貴族はお金も自由になり **46%**
 - 60代は節約世代 **26%**
 - わが家にはローンの支払いが残っているという人 **35%**
 - 40代はローンずっしり **51%**
 - 横浜市の財政が黒字と思っている人 **28%**
 - 赤字と思っている人 **24%**
 - 収支トントン **30%**
- …正解は「黒字」です。(61年度)

■年収を上回った貯蓄、近年は生命保険や有価証券の割合が高まっている



「年金」71%で、「子どもの援助」はわずか8%。子どもの援助を当てにしていない人が、大半74%である。また、老後の生活費は若いうちから蓄えるべき85%と、「備えあれば憂いなし」が生きている。

ますます進むキャッシュレス・カード社会

キャッシュカードにクレジットカード、テレ

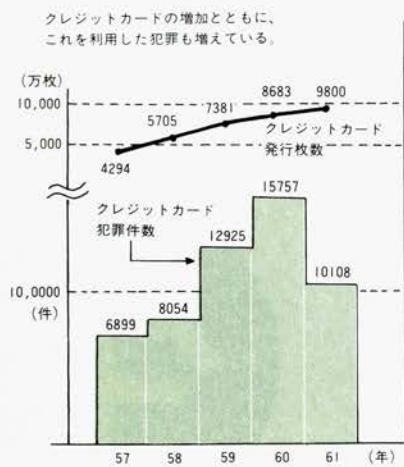
■横浜市消費者センターに寄せられる、財テクに係る相談や苦情は月に約40件

区分	61年度相談件数	代表的相談例
土地関係	35件	「近い将来、必ず値が出る」と原野を買わされた。
証券関係	30件	抵当証券は信用できるか。
商品相場関係	108件	「100万円預けてくれば、1ヶ月で必ず儲かる」と言ったのに、数日後、損金を請求された。(先物取引)
自動販売機関係	6件	「自動販売機を設置するだけで利益が出る」と言われたが、セールストックどおり儲からない。
内職・副業関係	190件	「毎月高収入」という広告を見て申し込んだが、高価な内職機械を買わされ内職資金はもらえない。
その他	98件	金融関係の相談など
計	467件	

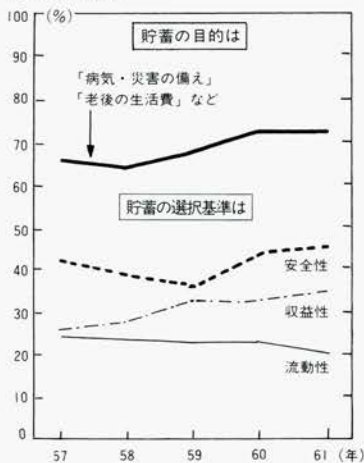
横浜市消費者センター調べ

ホンカードにオレンジカード……あらゆるものが、カードになりつつある。全国で、61年3月までに9706万枚のクレジットカードが発行されていて、成人1人が1枚以上もっている計算になる。市の調査では、クレジットカードを1人平均2・5枚持っており、年代による差はほとんどない。また、カードで

■進展するキャッシュレス社会



■老後や万が一に備え、安全性と収益性を重視



よく買いいものをする人は20%、カードでお金を借りたことのある人は9%と利用は少なくない。カード社会はこれからも進むことが予想されるが、国の調査によると、19歳から28歳の19%が「支払いに苦労するほどクレジットカードで買ってしまう」という。クレジットカードは確かに便利だが、使いすぎには注意が必要だろう。